

代表質問 (3)、用語の解説、議会 NEWS (2)

西東京市議会公明党 行財政改革の実効性と 市民への説明責任を果たせ!

小幡勝己 大田光昭 藤田美智子 佐藤公男 佐々木順一 佐々木一

今後10年の課題

【質問】 これまでにない厳しい財政状況、総量の抑制、コストの抑制、財源確保とあるが取り組みを問う。

【答弁】 施策の優先度、重要度を見きわめ、限られた行政資源を重点的に配分する。

【質問】 公共施設を適正に配置する視点だけでは問題解決はできないと言われた根拠について問う。

【答弁】 3年の実行計画の実行を出す。施設の廃止を含め施設保有量抑制の方向性や既存施設の有効活用で機能拡充を図る。

【質問】 庁舎の統合整備に向けた方針決定が先延ばしになった説明をせよ。

【答弁】 丁寧な説明、意見聴取、サービスの維持を検討する必要があるため、今回は素案にした。

【質問】 庁舎の統合に一定の理解が得られたと答弁された、根拠を問う。

【答弁】 市民の意見として、意見聴取、合意形成、新庁舎の機能面等庁舎統合を踏まえた意見が多かったため。

【質問】 待機児童対策は最重要課題である、西東京市の今後10年の対策を問う。

【答弁】 重要課題と認識、平成31年までに待機児童を解消する計画。

【質問】 4次行革の特別会計健全化、財政支援団体への補助金抑制について問う。

【答弁】 行財政改革を今まで

以上を行う。健全化は大きな課題で計画的に進める。

【質問】 行政の透明性・信頼性向上、市民参加・協働の推進、地域経済の活性化、行政の効率化を同時に進められるオープンデータや、アプリ提供に取組む。

【答弁】 今後、調査研究する。

【質問】 施設老朽化に対応し、市民ニーズに添えていくため、公共施設等の適正管理、有効活用に関する資産情報一元管理の仕組みを提案してきた。取組みを問う。

【答弁】 コストや活用状況をデータ化し、一元管理する。

【質問】 平成26年度予算について

【答弁】 平成26年度予算の考え方、特徴、評価、財政の見通しを問う。

【答弁】 厳しい財政状況、税収は300億円を回復したが、地方交付税の減額等、全体として基金の取り崩しをした。回復に努める。

【質問】 消費税が8%となる、公明党が進めた臨時福祉給付金を支給するが、実施計画について問う。

【答弁】 低所得者と子育て世帯の影響緩和のため給付する。申請受付は7月ごろの見込みである。

健康・福祉・医療

【質問】 *地域包括システム構築の成否が社会を大きく左

右する。地域包括ケアシステムの構築について問う

【答弁】 最大の課題である。保険者機能を果たし、自助の活用や互助の組織化、公助の支援、財源の効果的活用を、一歩ずつ進める

【質問】 おむつの給付事業は評価している。しかし、持ち込めない病院がほとんど、現金給付と併用をせよ。

【答弁】 持ち込めない方に月額4千500円の現金給付を10月1日から実施する。



障害者施策の見直しと対策を強化せよ。

【質問】 民間活力を導入し施設需要に応えたい。

【答弁】 妊産婦の健康情報普及サイトを実施せよ。

【質問】 ニーズを把握した情報となるよう取り組んでいく。

【質問】 市民が外出時に災害に遭ったときのために、持病・緊急連絡先・家族との再会場所等を書いて財布等に入れておく、「災害時情報カード」を市報等に掲載してはどうか。

【答弁】 市民の防災意識の向上につながるので、掲載方法を検討する。

【質問】 災害対策基本法の一部改正による避難行動要支援者対策をせよ。

【答弁】 特にみずから避難が困難な方を支援するため改正、要支援者本人の同意を得て関係機関に情報提供し、声かけ、見守りに役立てる。

【質問】 平成26年度の避難施設への緊急物資の充実への取組について問う。

【答弁】 平成26年度は応急危険度判定に必要な資器材等の配備に取り組む。

【質問】 市民会館、中央図書館、田無公民館の耐震化と庁舎統合の関連について問う。

【答弁】 データを分析、糖尿病予備軍に面談、訪問指導で重篤化予防事業を開始する。

【質問】 生活保護面接相談員、自立支援・ひきこもり・ニート対策について問う。

【答弁】 面接相談委員を導入し自立支援策の効果が出ている。ひきこもり・ニート対策は、全国モデルである。

【質問】 市内の障害者人数は5年間で知的20%、精神障害66%の急激な増加である。

【答弁】 改修で施設機能を維持し、庁舎統合方針の決定



中央図書館 (南町5丁目)

と合わせ方向性を見定める。

【質問】 西東京3・4・11号線整備事業の四次化事業とひばりが丘団地へと向かう道路ネットワークを整備せよ。

【答弁】 早期整備を要望する。ひばりが丘駅北口のバリアフリー化を急げ。

【質問】 早期に実現できるような具体的に調整を進めたい。

【答弁】 ひばりが丘駅南口バリアフリー化を推進せよ。

【質問】 26年度実施設計、27年度以降工事を実施予定。

【答弁】 谷戸町2丁目の他4カ所の雨水対策を実施せよ。

【質問】 谷戸町は工事実施、保谷町は基本設計、田無町、向台町、保谷町は実施設計の予定。

【質問】 地元業者に配慮し街路灯のLED化を推進せよ。

【答弁】 導入方法の具体的検討を進める。

市民参加・保育・教育

【質問】 コミュニティ活性化のため、自治会・町内会等活性化補助金について。

【答弁】 実施に向け取り組む。

【質問】 認証保育施設は、国が導入する子ども子育て支援制度の枠外になる。運営者・保護者から不安の声が上がっている。

【答弁】 東京都は整備を支援していくとしている。今後とも維持・継続について都へ要望していく。

【質問】 学校施設の適正規模・適正配置について。

【答弁】 小学校の隣接校の問題、通学区域の見直しを実践する。老朽化は建て替え、改修を検討する。

議会 NEWS (2)

採択された陳情のその後

市議会で採択された陳情については、市長や教育委員会に送付され、その後、の検討経過を議会に報告することとなっています。ここでは平成25年度中に趣旨採択された2つの陳情の検討結果をお知らせします。

Table with 4 columns: Case Name, Adoption Date, Issue Description, and Reason. It details the follow-up of two petitions regarding bus route expansion and traffic guard placement.

用語の解説



*地域包括(ケア)システム 高齢者の尊厳の保持と自立生活の支援の目的のもとで、可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、地域の包括的な支援・サービスを提供する体制のこと。 *ロコモティブシンドローム 別名「運動器症候群」日本整形外科学会が提唱したもので、運動器の障害により要介護になるリスクの高い状態になること。